

《令和元年度》

第 45 回 下水道技術検定 受検案内

申込受付期間

令和元年 6 月 24 日～令和元年 7 月 17 日

(7 月 17 日の消印があるものまで受付)

地方共同法人

日本下水道事業団

研修センター 管理課

《令和元年度》

## 第 45 回 下水道技術検定 受検案内

技術検定は、日本下水道事業団法第 26 条第 1 項第 7 号に基づき、下水道法第 22 条に定める下水道事業を行うにあたって必要な責任技術者確保のために日本下水道事業団が実施するものです。

計画設計を行うために必要な第 1 種、実施設計、工事の監督管理を行うために必要な第 2 種及び処理施設、ポンプ施設の維持管理を行うために必要な第 3 種の 3 区分に分かれています。

当事業団では、この技術検定のほかに管路施設の維持管理に携わる技術者を対象として下水道管理技術認定試験を実施しています。

**管路施設の維持管理にかかる技術の認定を受けたい方は、下水道管理技術認定試験を受験してください。**

### ◎受検資格

受検資格について制限はありません。**だれでも受検できます。**

### ◎申込受付期間及び申込方法

- (1) 受付期間 令和元年 6 月 24 日(月)から  
令和元年 7 月 17 日(水)まで
- (2) 申込方法 所定の受検申込書を簡易書留郵便により提出してください。  
令和元年 7 月 17 日(水)までの消印があるものに限り受け付けます。
- (3) 受検手続 詳細については、4 ページ以降を参照してください。

### ◎試験日時

令和元年 11 月 10 日(日)

- 第 1 種技術検定 9 時 00 分から 16 時 00 分まで
- 第 2 種技術検定 9 時 00 分から 12 時 15 分まで
- 第 3 種技術検定 13 時 15 分から 16 時 30 分まで

### ◎試験地

札幌市、仙台市、東京都、新潟市、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市、  
鹿児島市及び那覇市

(注) 試験場をこれらの都市周辺に設ける場合もあります。

- (1) 試験地は、上記の 11 都市のうち受検申込者の希望する 1 都市とします。
- (2) 申込書の受理後における**試験地の変更は、認められません。**

## ◎検定の区分及び対象

検 定 区 分	検 定 の 対 象
第 1 種技術検定	下水道の <b>計画設計</b> を行うために必要とされる技術
第 2 種技術検定	下水道の <b>実施設計</b> 及び <b>工事の監督管理</b> を行うために必要とされる技術
第 3 種技術検定	下水道(処理施設、ポンプ施設)の <b>維持管理</b> を行うために必要とされる技術

申込書の受理後における検定区分の変更は認められません。

## ◎試験科目及び試験の方法

次の試験科目について学科試験を行います。

検 定 区 分	試 験 科 目	試 験 の 方 法	
		午 前	午 後
第 1 種技術検定	下水道計画、下水道設計、 施工管理法、下水処理及び法規	多肢選択式	記述式
第 2 種技術検定	下水道設計、施工管理法、 下水処理及び法規	多肢選択式	
第 3 種技術検定	下水処理、工場排水、運転管理、 安全管理及び法規		多肢選択式

## ◎合格者の発表

令和元年 12 月 20 日(金)

第 2 種技術検定、第 3 種技術検定

令和 2 年 2 月 7 日(金)

第 1 種技術検定

発表の方法は、日本下水道事業団研修センターの庁舎内に合格者の受検番号を掲示するとともに、日本下水道事業団のホームページに掲載します(合格発表から 1 ヶ月間)。

また、**合格者には書面で通知**します。

なお、多肢選択式試験問題及び正答は、試験終了後速やかにホームページに掲載します(合格者発表から 1 ヶ月間)。

## ◎その他

合格者には、下水道法第 22 条(第 25 条の 18 において準用される場合を含む。)の資格取得について、下水道法施行令第 15 条、第 15 条の 3 に規定されている実務経験年数が短縮されるという特例が適用されます。

また、下水道処理施設維持管理業者登録規程に基づき維持管理会社を登録するにあたっては、第 3 種技術検定に合格し所定の実務経験年数を有する者を登録する営業所ごとに置くことが要件となっています。

## 《試験科目の内容》

検 定 区 分	試 験 科 目	内 容
第 1 種技術検定	下水道計画	下水道の配置、構造及び能力に関する計画を策定するために必要な知識
	下水道設計	1 下水道並びに下水道に設けられる機械設備及び電気設備の機能及び構造に関する一般的な知識 2 下水道の強度計算及び構造計算に必要な知識 3 下水道工事の施工法に関する一般的な知識 4 下水道の設計図書に関する一般的な知識
	施工管理法	下水道工事の施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する一般的な知識
	下水処理	下水、汚泥等の処理に関する一般的な知識
	法 規	下水道関連法規に関する一般的な知識
第 2 種技術検定	下水道設計	1 下水道並びに下水道に設けられる機械設備及び電気設備の機能及び構造に関する一般的な知識 2 下水道の強度計算及び構造計算に必要な知識 3 下水道工事の施工法に関する一般的な知識 4 下水道の設計図書に関する一般的な知識
	施工管理法	下水道工事の施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する一般的な知識
	下水処理	下水、汚泥等の処理に関する概略の知識
	法 規	下水道関連法規に関する一般的な知識
第 3 種技術検定	下水処理	下水、汚泥等の処理に必要な知識
	工場排水	1 工場及び事業場からの排水並びに排水が下水道に与える影響に関する一般的な知識 2 除害施設の機能及び構造に関する一般的な知識
	運 転 管 理	処理施設及びポンプ施設の運転その他の管理に必要な知識
	安 全 管 理	処理施設及びポンプ施設の安全管理に関する一般的な知識
	法 規	下水道関連法規に関する一般的な知識

## ご 注 意

当事業団では、下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験の受験のための研修や講習会は開催しておりません。

**研修、講習会及び受験参考書に関するお問合せはご遠慮ください。**

# 第 45 回下水道技術検定 の受検手続

## ◎受検申込用紙

受検申込書は、受検区分の申込用紙右の「こちら」をクリックしていただくと PDF が開きますので、A4 用紙に等倍で印刷してお使いください。

## ◎検定手数料（消費税込）

第 1 種技術検定	12,000円
第 2 種技術検定	9,000円
第 3 種技術検定	9,000円

## ◎検定手数料の納付方法

受検にあたっては、下記の検定手数料の納付が必要です。納付方法は郵便局に備付けの郵便振替払込用紙を用いて下記口座に振り込んでください。

「振替払込請求書兼受領証」を受け取り、この原本を受検申込書の所定の欄に貼ってください（ATM 利用の場合は、「ご利用明細票」を所定欄に貼ってください）。

《手数料振込先》 加入者名 日本下水道事業団研修センター  
口座番号 00160-2-80617

※ 検定手数料は、理由のいかんを問わず、納付後は返還いたしません。また、郵便振替以外での納付は、受け付けません。

### 【郵便振替用紙記入例】

この部分の原本を受検申請書に貼り付けてください。

下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験では、領収書の発行はいたしません。

「振替払込請求書兼受領証」の返還をご希望の方は、返信用封筒（82 円切手を貼付した定形封筒）及び「振替払込請求書兼受領書」原本返還希望の旨を記したメモを受検申込書に同封してお送りください。申込書記載事項等を確認のうえ返送いたします。

## ◎受検申込提出書類

- (1) 所定の**受検申込書** 1 部
- (2) 各検定区分ごとに定められた検定手数料の**振替払込請求書兼受領証の原本**を受検申込書の所定欄に貼ってください。

## ◎受検申込先

日本下水道事業団 研修センター管理課  
〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目 5141

- (1) 申込書の提出は、**所定の封筒（角形 2 号）**を用い**申込書は折り曲げない**ようにしてください。
- (2) 必ず**簡易書留郵便**とし、郵便局で手続きをしてください。
- (3) 申込受付期間は、**令和元年 6 月 24 日（月）**から**7 月 17 日（水）**までです。早めに申込手続きを行ってください。
- (4) 郵便振替の日付又は封筒の消印が**7 月 18 日以降の申込書は受け付けができません**ので、ご了承ください。

## ◎受検票の送付

受検票は、**10 月 18 日（金）**までに届くよう**受検申込書に記載の住所**へ普通郵便（ハガキ）にてお送りしますが、その日までに届かない場合は、受験申込先へお問い合わせください。

試験当日は、写真貼付後の受験票を必ず持参してください。受検票のない方、受検票に写真の貼付がない方は受験ができません。受検票は試験中に回収します。可否に関らず写真は返却しませんので、ご了承ください。

## ◎受検票への写真貼付

受検票が届きましたら内容確認のうえ、写真を貼付してください。

【受検票に貼付する写真の規格】

**上半身、脱帽、正面向縦 4cm、横 3cm で試験日前 6 ヶ月以内に撮影した（証明用）の写真**で裏面には必ず試験区分と氏名を明記してください。

**検定ごとに申込みが必要**ですので、**申込書の記入及び検定手数料の振込みは検定区分ごと**にそれぞれお願いします。(複数受検であっても、一括申し込みはできません。)  
なお、同一の企業、組織で複数の受検者がいる場合であっても、受検者ごと、検定区分ごとにそれぞれお申込み願います。

## ◎その他受検申込に関する注意等

- (1) 申込書受理後における**試験地の変更は認められません**ので、受検申込者自身の試験日(令和元年 11 月 10 日(日))の状況をよく考えて申込みをしてください。
- (2) 提出書類に不備(記入漏れ、誤記等)があった場合には、受検できないことがありますので、必ず**受検申込者自身が記入**のうえ提出してください。
- (3) **検定手数料及び提出書類は、受理後は理由のいかんを問わず返還しません。**  
**申込後の辞退は、受け付けていません。**
- (4) 申込書送付後に**住所、氏名、本籍地(国籍)又は勤務先の変更**があった場合は、**下記問合せ先**にご連絡ください。
- (5) 申込書に記載いただく等により収集した**申込者の個人情報**は、受検票の発送、試験の実施、採点、合格者の決定、合格通知等試験業務遂行のために利用するとともに、合格者については合格者名簿に登載し、合格者管理のために使用いたします。なお、**技術検定及び認定試験の実施及び管理に関する事務以外には、一切使用いたしません。**
- (6) **身体に障害**があるため、受検時、何らかの措置(車椅子の使用、試験時間中の薬の服用等)を希望される場合は、**受検申込時に下記問合せ先**にご連絡ください。  
なお、障害の程度、試験会場の都合等によりご要望に添えない場合がありますがご了承願います。
- (7) **試験手数料の領収書は発行いたしません。**郵便振替払込時に郵便局から返還された「払込金受領証」をもって試験手数料の領収書に代えさせていただきます。
- (8) **書面による申請は今年度限りとし、次年度からは電子申請のみとなります。**

## ◎受検に関する問い合わせ先

地方共同法人 日本下水道事業団 研修センター 管理課(技術検定担当)

〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目 5141

電話：048-421-2076 Eメール：js-kentei@jswa.go.jp

受付時間：月曜～金曜 9：00～17：30

# 下水道技術検定 受検申込書の記入例

① 払込請求書兼受領証(原本)を貼ってください。

※払込請求書兼受領証の原本の返送を希望する方は、**返信用封筒**に住所氏名を記入し**82円切手を貼って**受検申込書に同封してください。受付処理後に返送します。

払込請求書兼受領証は申込書に貼り付けずに、申込書に同封してください。

第3種下水道技術検定

第45回

郵便振替払込受付証明書貼付欄

この部分に試験手数料9,000円の振替払込請求書兼受領証の原本(写し不可)を糊付けすること  
「振替払込請求書兼受領証」の原本の返送を希望する場合は、返信用封筒(82円切手を貼付した定形封筒)及び「振替払込請求書兼受領証」原本返送希望の旨を記したメモを同封すること

検定手数料の納付方法(受験案内を参照して下さい)  
郵便局に備付けの郵便振替払込用紙を用いて下記口座に振り込んでください  
「振替払込請求書兼受領証」を受け取り、その原本を本欄に貼ってください(ATM利用の場合は、「ご利用明細票」を本欄に貼ってください)  
(手数料振込先)  
加入者名 日本下水道事業団研修センター  
口座番号 00160-2-80617

日本下水道事業団 理事長 殿  
関係書類を添付の上、受検を申し込みます

平成31年 6月 24日

受検番号

※(記入しないでください)

検定区分	第3種技術検定		for internet downloads	
試験地	東京 (都)・市		整理番号	
(フリガナ)	ケ・スイ	ミチオ		
氏名	下水 道夫		〒	
生年月日	3月 5日 9月 6日 2月 7日	性別	1男	2女
(郵便番号)	338-1234	本籍地	千葉県	都道府県
(フリガナ) 住	埼玉 さいたま 中央	本籍地	千葉県	都道府県
	コウエンチョウ	ササメマンション		
	公園町4-32-1	望目マンション306		
電話番号	(***) *** - ****	Eメールアドレス	Michio@gesui.com	

太線で囲まれた欄に全て記入してください。なお、※欄は記入しないでください  
住所欄は、郵便物を確実に受取れる住所を記載してください

③ 試験地は、札幌市、仙台市、東京都、新潟市、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市、鹿児島市、那覇市のうちから希望する場所を記入してください。

② 氏名、生年月日、本籍地(都道府県名のみ(外国籍の方は国籍))及び住所は、合格者名簿に記載しますので、省略したり、略字を使ったりせずに**正確に楷書体で記入**してください。

なお、氏名のフリガナは、左端から**カタカナ**で記入し、**濁点、半濁点は、1字**としてください。

※以下は、合格者名簿及び統計資料の作成に使用するもので、受験資格及び検定の可否とは、一切関係ありません。必ずご記入願います

(※ページ記入人数により該当する番号に○を付けず)

勤務先(会社名)	海山産業(株)	学歴	1 2 3 4 5 6 7 8 9	主な職務内容	1 下水道の計画又は設計に関する業務 2 下水道施設の建設工事に関する業務 3 下水道施設の維持管理に関する業務 4 その他
(部課名等)	水環境事業部	職	1 国家公務員(独立行政法人等を含む) 2 地方公務員 3 下水道公社職員 4 下水道の設計会社員(事業主を含む) 5 下水道処理施設の維持管理会社員(事業主を含む) 6 下水道管路施設の維持管理会社員(事業主を含む) 7 建設会社員(事業主を含む) 8 3~7以外の会社員 9 学生 10 その他	受検回数	1 初回 2 2回目 3 3回目 4 その他
所	330-5678				
在	埼玉 さいたま市				
地	浦和区浦和1-1-10				
電話番号	(***) *** - ****				

(記入にあたっては、受験案内及び申込書裏面をお読みください)  
※この申込書に記載された個人情報、下水道技術検定の実施及び管理に関する事務以外では一切使用いたしません

④ この欄は合格者名簿及び統計資料の作成に使用するものです。受検申込時現在の状況を記入してください。

⑤ 勤務先は会社の場合○○(株)又は(有)△△のように記入してください。

⑥ 学歴は、申込書裏面の記入要領により該当する**番号に○**を付けてください。

⑦ その他の欄は、該当する**番号に○**をつけてください。

(注意)

- 太線の枠内に記入してください。
- ※印の枠内は、絶対に記入しないでください。